

乙 第 号

片山 健 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第	号	氏名	片山 健
論文審査担当者	委員長		教授	浅田 秀夫
	副委員長		教授	吉川 公彦
	委員		教授	田中 康仁
	委員		教授	川手 健次
	委員		准教授	面川 庄平
	(指導教員)			

主論文

Distribution of primary osteoarthritis in the ulnar aspect of the wrist and the factors that are correlated with ulnar wrist osteoarthritis:
a cross-sectional study

尺側手関節の変形性関節症の頻度とその発現に影響を及ぼす要因

Takeshi Katayama, Hiroshi Ono, Daisuke Suzuki,
Manabu Akahane, Shohei Omokawa, Yasuhito Tanaka

Skeletal Radiology

42 巻, 1253-1258 頁

2013 年 9 月発行

論文審査の要旨

尺側手関節痛をきたす疾患である一次性尺側変形性手関節症の病因は、未だ解明されていない。また、関節症の頻度や、手根骨配列が発症に及ぼす影響についても不明である。本論文では、一次性尺側変形性手関節症の頻度を調査し、関節症の発現に影響する要因について、ロジスティック回帰分析を用いた多変量解析を行った。

本研究は、2008年から2010年に整形外科外来を受診し、選択基準に該当する1128例を対象とした後ろ向き横断研究である。手関節2方向X線撮影を行い、145例(12.8%)で尺側手関節に一次性変形性関節症を認めた。これらのうち、139例(12%)は遠位橈尺関節に、91例(8%)は尺骨月状骨関節に関節症性変化を認めた。尺側手関節の変形性関節症の発現に有意に影響するレントゲンパラメーターは、橈骨傾斜角(odds比0.86)、尺骨長変異(odds比1.6)、手根中手長比(odds比0.86)であった。尺骨長が1mm増加すると変形性関節症の発現する危険度は1.6倍になることが判明した。

本研究は、尺側変形性手関節症の頻度とレントゲン学的危険因子を明らかにしており、大変有意義で医学の学位に値すると評価できる。

参 考 論 文

1. 橈骨遠位端骨折に関節鏡を導入する適応

片山 健、小野浩史、鈴木大介、赤羽 学

中部整災誌 56: 951-952, 2013

2. 舟状骨周囲関節の変形性関節症の発現に影響する要因

片山 健、小野浩史、鈴木大介、赤羽 学

中部整災誌 56: 229-230, 2013

3. 小児肘関節周囲骨折に合併した橈骨頭前方脱臼に伴う尺骨塑性変形の X 線特徴

片山 健、小野浩史、藤谷良太郎

日本肘関節学会雑誌 19: 220-223, 2012

4. 手関節尺側における変形性関節症（第 1 報） - 関節症の進行過程について

片山 健、小野浩史、古田和彦、鈴木大介、赤羽 学

日手会誌 28: 301-304, 2012

5. Osteochondroma of the lunate with extensor tendons rupture of the index finger:
a case report.

Takeshi Katayama, Hiroshi Ono, Kazuhiko Furuta

Hand Surg 16: 181-184, 2011

6. 母指 CM 関節症およびその治療法(関節固定術や靭帯形成術)が手関節に及ぼす影響

片山 健、小野浩史、古田和彦

日手会誌 27: 452-454, 2011

7. 舟状骨偽関節による DISI 変形の矯正と臨床成績は舟状骨への移植骨の大きさと決まる

片山 健、小野浩史、古田和彦、面川庄平、矢島弘嗣

日手会誌 26: 301-304, 2010

8. 舟状骨偽関節による DISI 変形の矯正は舟状骨への移植骨の大きさと決まる

片山 健、古田和彦、矢島弘嗣

骨折 31: 154-157, 2009

9. 90 歳以上の大腿骨近位部骨折の治療成績

片山 健、村上淳一、額田昌門、千福健夫、吉井 尚

中部整災誌 48: 177-178, 2005

10. Talocalcaneal coalition: a case showing the ossification process

Takeshi Katayama, Yasuhito Tanaka, Kunihiko Kadono,

Akira Taniguchi, Yoshinori Takakura

Foot Ankle Int 26: 490-493, 2005

11. 2 本の血管柄付き腓骨移植による近位広範囲大腿骨再建 -10 年追跡例-

片山 健、小野浩史、水本 茂、矢島弘嗣

日本マイクロサージャリー学会雑誌 16: 352-359, 2003

12. 橈骨遠位端骨折に合併した舟状骨月状骨不安定症における Geissler 分類 grade4 の単純 X 線画像所見

鈴木大介、小野浩史、片山 健、赤羽 学、面川庄平、田中康仁

中部整災誌 56: 239-240, 2013

13. 大腿骨転子部骨折における術後荷重開始時期が患肢荷重量および歩行能力改善に与える影響

草野雅司、古田和彦、片山 健、鈴木大介

骨折 34: 862-864, 2012

14. DASH は高齢者にも有効か？ -橈骨遠位端骨折 95 例の分析-

古田和彦、片山 健、草野雅司、鈴木大介

骨折 34: 736-739, 2012

15. 橈骨遠位端骨折に伴う舟状月状骨不安定症の予測因子の解析

鈴木大介、小野浩史、古田和彦、片山 健、赤羽 学、面川庄平

日手会誌 29: 94-97, 2012

16. Distal radial fracture arthroscopic intraarticular gap and step-off measurement after open reduction and internal fixation with a volar locked plate.

Hiroshi Ono, Takeshi Katayama, Kazuhiko Furuta, Daisuke Suzuki,

Ryotaro Fujitani, Manabu Akahane

J Ortop Sci 17: 443-449, 2012

17. DISI 変形を伴った舟状骨偽関節に対する術前 X 線から予め形状を決めた骨移植法の有用性

鈴木大介、片山 健、小野浩史、面川庄平、田中康仁

中部整災誌 55: 387-388, 2012

18. 橈骨遠位端骨折の術後成績を左右する因子についての分析

第1報 -手関節可動域、握力、DASH-

古田和彦、小野浩史、片山 健

日手会誌 27: 571-574, 2011

19. Distal radius fracture arthroscopic intraarticular displacement measurement after open reduction and internal fixation from a volar approach.

Hiroshi Ono, Kazuhiko Furuta, Ryotaro Fujitani, Takeshi Katayama,
Manabu Akahane

J Ortop Sci 15: 502-508, 2010

20. Ankle arthrodesis using anterior sliding inlay vascularized tibia flap:
three case reports.

Hiroshi Ono, Ryotaro Fujitani, Takeshi Katayama, Shohei Omokawa,
Shigeru Mizumoto

Microsurgery 31: 51-55, 2011

21. 掌側ロックングプレートを用いた橈骨遠位端骨折術後に外固定は必要か？

古田和彦、小野浩史、片山 健

日手会誌 26: 245-248, 2010

22. 培養骨芽細胞シート注入による骨形成

赤羽 学、重松英樹、小野浩史、片山 健、今村知明

日手会誌 26: 4-6, 2010

23. Symmetrical peripheral gangrene が原因の切断母指に対して延長術を施行した
1 例

伊藤真吾、片山 健、前川尚宜、河村健二、村田景一、田中康仁

中部整災誌 53: 425-426, 2010

24. 舟状月状骨解離に対する背側手根骨間靭帯を用いた再建法

小野浩史、古田和彦、片山 健、竹村和生

日手会誌 25: 72-76, 2008

25. 変形性股関節症患者に発生した特発性腸骨骨膜下血腫の 1 例

稲垣有佐、久貝充生、建道寿教、片山 健、野々下博

整形外科 59: 160-163, 2008

26. ポリエチレンライナーの摩耗により再置換を要した Perfecta 型人工股関節の
3 症例

稲垣有佐、久貝充生、建道寿教、片山 健

中部整災誌 50: 745-746, 2007

27. 病的骨折に至った膝蓋骨巨細胞腫の 1 例

小杉真一、額田昌門、片山 健、千福健夫、吉井 尚

中部整災誌 49: 1027-1028, 2006

28. 坐骨神経に発生した巨大神経鞘腫の 1 例

小杉真一、千福健夫、片山 健、額田昌門、吉井 尚

中部整災誌 48: 1077-1078, 2005

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに整形外科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 26 年 3 月 6 日

学位審査委員長

皮膚病態医学

教 授 浅田 秀夫

学位審査副委員長

画像診断・低侵襲治療学

教 授 吉川 公彦

学位審査委員

運動器再建医学

教 授 田中 康仁

学位審査委員

運動器再建医学

教 授 川手 健次

学位審査委員（指導教員）

運動器再建医学

准教授 面川 庄平